



# 早稲田大学 (東京都)



レベル別・技能別・テーマ別に科目を設置。幅広い選択肢のなかから、自分の興味・目的に合わせてカリキュラムが選べます。

## ◇早稲田大学の特色と概要

### 1. 特色と歴史

早稲田大学は、大隈重信侯によって、近代日本の人材育成を目的として1882年に創立されました。創立当時は東京専門学校と称し、1902年に早稲田大学となりました。早稲田大学は創立以来、「学問の独立」「実用の教育」「模範的国民の養成」を教育方針とし、その教育方針は現在も早稲田大学の教育と研究の根本をなしています。早稲田大学は、2007年10月に創立125周年を迎えました。現在、13学部、大学院22研究科、附属機関等から成り立っています。専任教職員約2,500人、学生約56,000人が所属しており、その歴史と伝統、教育・研究の水準の高さ、卒業生の活躍などから、日本で有数の私立大学として評価されています。留学生の受け入れについても、古くから積極的に推進し、毎年、多くの留学生を受け入れています。

### 2. 学生数等

学部：政治経済学部、法学部、文化構想学部、文学部、教育学部、商学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、社会科学部、人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部

大学院：政治学研究科、経済学研究科、法学研究科、文学研究科、商学研究科、基幹理工学研究科、創造理工学研究科、先進理工学研究科、教育学研究科、人間科学研究科、社会科学研究科、スポーツ科学研究科、アジア太平洋研究科、国際情報通信研究科、日本語教育研究科、情報生産システム研究科、公共経営研究科、法務研究科、ファイナンス研究科、会計研究科、環境・エネルギー研究科、教職研究科

教職員数：専任教員 1,723名、助手 399名  
非常勤講師 4,099名 専任職員 788人

学生数：学部生 45,192名、大学院生 8,609名  
(2008年4月現在)

### 3. 国際交流の実績

外国人留学生在籍数：2,830名(93カ国)  
うち別科生：184名  
(2008年5月現在)

外国人研究員受入数：215名

## ◇コースの概要

1. コース名：早稲田大学別科日本語専修課程

2. コースの特色：

別科日本語専修課程は、早稲田大学日本語教育研究センターが、外国人で日本もしくは日本語に関する研究や教育を志す者、またはこれらに従事している者に対し、主に日本語能力の向上を目的として、設置している日本語学習プログラムです。

3. 受入定員 15名

4. 受入学生の資格・条件

(1) 日本語能力

基本的文型、基礎語彙約3,000語～4,000語以上、基礎漢字約600字～800字程度以上を既に習得した者。

(2) 日本研究学習歴、専攻

4年制大学で日本語・日本語教育・日本文化関係を専攻している学生。

5. コース期間

受入期間 2009年9月21日～2010年9月20日

授業期間 秋学期：9月21日～3月31日、

春学期：4月1日～9月20日

※オリエンテーション・プレイズメント

テストは9月中旬に実施

## 6. 課程内容:

別科日本語専修課程は、学習者の日本語能力に合わせた8段階のレベルに分かれており、それぞれのレベルで日本語を総合的に学ぶことができます。入学時に受験するプレイスメントテストの結果により履修すべきレベルを決定します。

### (1) 修了要件

- 年間26単位(原則として各学期13単位)以上の科目を履修し合格の成績を取得した者を修了者とみなし修了証書を授与します。

### (2) 設置科目

- 各科目は週あたり授業回数によって与えられる単位数が異なります。
- 日本語センター設置科目は、週1回90分の授業で1単位、他学部設置科目は週1回90分の授業で2または4単位が与えられます。
- レベル1～2の学生は、集中して基礎を学ぶため、週10または13回(10または13単位)のコアクラスを受講しますが、レベルが高くなるにしたがって科目選択の幅が広がります。

科目種類	内容	単位数
日本語センター	コアクラス 教科書を用いて基礎から応用に至る学習を行います	5 or 10 or 13
	教科書に拠らずクラス内での活動を中心にコミュニケーション能力を中心に養成する学習を行います	3 or 5
	技能クラス 聴解、読解、口頭表現、文章表現、文法、漢字、発音の各技能を磨くクラスです	1
日本語テーマ科目	日本社会や日本文化、日本語に関わるテーマを設けて講義や活動を行います	1
他学部設置科目	日本語で行われる各学部の授業を聴講します ※レベル8の学生のみ	2 or 4

### (3) 科目選択

- 各自のレベルに応じて科目を選択し履修します。
- 授業はすべて日本語で行われます。
- コアクラスは、教科書を用いて行われるクラス、活動を中心に行われるクラスから選択して1科目を履修します。
- 技能クラス、日本語テーマ科目は、テーマごとに設置される科目から必用単位数分の科目を選択して履修します。

レベル	目標	コアクラス	技能クラス	日本語テーマ科目
1	日本語でコミュニケーションをとるための基本的な文型、語彙、表現の習得を目的とします。修了時には基本語彙2000語、基礎漢字500字の習得を目指します。	10 or 13	0 or 3	
2		10	3	
3	日本語の運用能力をさらに高めるために、場面や状況に応じた表現や語彙を学習し、広いコミュニケーション能力を習得することを目的とします。日常生活はもちろん、さまざまなテーマや課題について、日本語で理解したり発表したり議論したりできる基礎的な力を育成します。	8 or 10	3 or 5	
4		3 or 5	8 or 10	
5		—	13	
6				
7	大学の講義を受講したり、研究活動を行ったりするのに必要な高度な日本語の運用能力を身につけることを目的に、学術的、社会的、文化的なテーマについて、日本語によるディスカッション、プレゼンテーション、レポート作成や論文作成などができる高度なコミュニケーション能力を育成します。なお、8レベルの学生は、他学部設置科目を2科目を上限に選択することができます。	—	13	
8				

## 7. 指導体制

### (1) 専任教員

#### 【所長】

蒲谷 宏 教授 待遇コミュニケーション研究

#### 【教務主任】

池上 摩希子 准教授 地域日本語教育研究

川上 郁雄 教授 年少者日本語教育研究

川口 義一 教授 日本語教授法研究

小林 ミナ 教授 文法教育研究

小宮 千鶴子 教授 語彙教育研究

佐久間まゆみ 教授 文章・談話研究

鈴木 義昭 教授 日中言語文化研究

館岡 洋子 教授 学習環境デザイン研究

戸田 貴子 教授 音声・音韻

細川 英雄 教授 言語文化教育研究

宮崎 里司 教授 言語習得研究

吉岡 英幸 教授 教材・教具研究

### (2) 客員講師・非常勤講師 76名(兼担を含む)

## 8. 実施見学、行事等

別科日本語専修課程では、課外活動として日本の社会や文化についての理解を深めるため、スポーツ観戦、歌舞伎鑑賞、1泊旅行等を行います。

## 9. 単位互換

単位の互換については、学生の出身大学の制度によります。

## ◇宿舎

日本学生支援機構(JASSO)が寮を提供します。

## ◇問い合わせ先

早稲田大学 日本語教育研究センター

住所: 〒169-8050

東京都新宿区西早稲田1-7-14

TEL: 03-5273-3142

FAX: 03-3203-7672

E-mail: cjl@list.waseda.jp

URL: <http://www.waseda.jp/cjl/>

## 「別科日本語専修課程」受入れ実績

2008-2009年度

### <アジア>

インド	1	インドネシア	1
韓国	32(7)	カンボジア	1
シリア	1	フィリピン	1
タイ	15(1)	中国	48(3)
台湾	30	中国(香港)	2
ベトナム	1	イスラエル	1
モンゴル	1(1)	ミャンマー	2
マレーシア	5		

### <ヨーロッパ>

アイルランド	1	イギリス	13
イタリア	5	オーストリア	2
オランダ	1	スイス	2
スウェーデン	5(1)	チェコ	1
デンマーク	2	ドイツ	13
ノルウェー	2	ウクライナ	1
フランス	15(1)	ブルガリア	1
ベラルーシ	1	ベルギー	1
ロシア	6	エストニア	1
スペイン	3	スロバキア	2
ハンガリー	1	ラトビア	1
リトアニア	1	ルーマニア	1

### <北米>

アメリカ	15	カナダ	5
------	----	-----	---

### <中南米>

ブラジル	1		
------	---	--	--

### <オセアニア>

オーストラリア	4	ニュージーランド*	3
パプアニューギニア	1	サモア	1

### <アフリカ>

エジプト	1		
------	---	--	--

合計 255(14)

( )内は、日本語・日本文化研修留学生で内数。